様式第３の５

水銀排出施設設置（使用、変更）届出書

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　 年　　月 　 日

栃木県○○環境森林（管理）事務所長　様

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名又は名称及び住所並びに

 　　　　　　 届出者　法人にあつてはその代表者の氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（電話番号）

大気汚染防止法第18条の28第１項(第18条の29第1項、第18条の30第１項)の規定により、水銀排出施設については、次のとおり届け出ます。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 工場又は事業場の名称 |  | ※整理番号 |  |
| 工場又は事業場の所在地 |  | ※受理年月日 | 　年　月　日 |
| 水銀排出施設の種類 |  | ※施設番号 |  |
| 水銀排出施設の構造 | 別紙１のとおり。 | ※審査結果 |  |
| 水銀排出施設の使用の方法 | 別紙２のとおり。 | ※備考 |  |
| 水銀等の処理の方法 | 別紙３のとおり。 |
| 参考事項 |  |  |  |

　備考　１　水銀排出施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行規則（以下「施行規則」という。）別表第３の３に掲げる項番号及び名称を記載すること。

　　　　２　※印の欄には、記載しないこと。

　　　　３　変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。

　　　　４　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ４とすること。

別紙１

水銀排出施設の構造

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工場又は事業場における施設番号 |  |  |
| 名称及び型式 |  |  |
| 設置年月日 | 　　　年　　　月　　　日 | 　　　年　　　月　　　日 |
| 着手予定年月日 | 　　　年　　　月　　　日 | 　　　年　　　月　　　日 |
| 使用開始予定年月日 | 　　　年　　　月　　　日 | 　　　年　　　月　　　日 |
| 規　　　模 | 伝熱面積（ｍ） |  |  |
| 燃料の燃焼能力（重油換算ｌ／ｈ） |  |  |
| 原料の処理能力（ｔ／ｈ） |  |  |
| 火格子面積又は羽口面断面積（ｍ） |  |  |
| 変圧器の定格容量（kＶＡ） |  |  |
| 焼却能力（㎏／ｈ） |  |  |

備考　１　設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

２　規模の欄には、大気汚染防止法施行規則別表第３の３の中欄に規定する項目について記載すること。

３　水銀排出施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格Ａ４の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

別紙２

水銀排出施設の使用の方法

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工場又は事業場における施設番号 |  |  |
| 使用状況 | １日の使用時間及び月使用日数等 | 　　　　時～　　　　時 時間/回　回/日　日/月 | 　　　　時～　　　　時 時間/回　回/日　日/月 |
| 季節変動 |  |  |
| 原材料（水銀等の排出に影響のあるものに限る。） | 種類 |  |  |
| 使用割合 |  |  |
| 原材料中の水銀等含有割合 |  |  |
| １日の使用量 |  |  |
| 燃料（水銀等の排出に影響のあるものに限る。） | 種類 |  |  |
| 燃料中の水銀等の含有割合 |  |  |
| 通常の使用量 |  |  |
| 混焼割合 |  |  |
| 排出ガス量（ｍ／ｈ） | 湿り | 最大 | 通常 | 最大 | 通常 |
| 乾き | 最大 | 通常 | 最大 | 通常 |
| 排出ガス中の酸素濃度（％） |  |  |
| 水銀濃度（µｇ／Ｎｍ） | 全水銀 |  |  |
| ガス状水銀 |  |  |
| 粒子状水銀 |  |  |
| 参考事項 |  |

　　備考　１　排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が１気圧の状態（この項において「標準状態」という。）における量に、水銀濃度については、標準状態における排出ガス１立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。

２　水銀濃度は、乾きガス中の濃度とし、平常時の平均的な濃度を記載すること。

　　　　　 ３　水銀濃度は、水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。

　　　　　 ４　参考事項の欄には、水銀等の排出状況が著しい変動がある施設についての一工程

の排出量の変動の状況、水銀等の排出抑制のために採っている方法等を記載すること。

別紙３

水銀等の処理の方法

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 水銀等の処理施設の工場又は事業場における施設番号 |  |  |
| 処理に係る水銀排出施設の工場又は事業場における施設番号 |  |  |
| 水銀等の処理施設の種類、名称及び型式 |  |  |
| 設置年月日 | 　　年　　月　　日 | 　　年　　月　　日 |
| 着手予定年月日 | 　　年　　月　　日 | 　　年　　月　　日 |
| 使用開始予定年月日 | 　　年　　月　　日 | 　　年　　月　　日 |
| 　　処　　　 理　　 　能　　　 力 | 排出ガス量（ｍ／ｈ） | 湿　り | 最大 通常 | 最大 通常 |
| 乾　き | 最大 通常 | 最大 通常 |
| 排出ガス温度（℃） | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 排出ガス中の酸素濃度（％） |  |  |
| 水銀濃度（µｇ／Ｎｍ） | 全水銀 | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| ガス状水銀 | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 粒子状水銀 | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 捕集効率（％） | 全水銀 |  |  |
| ガス状水銀 |  |  |
| 粒子状水銀 |  |  |
| 使用状況 | １日の使用時間 及び月使用日数等 | 　　　時～　　　　時時間/回　回/日　日/月 | 　　　時～　　　　時時間/回　回/日　日/月 |
| 季節変動 |  |  |

備考１　水銀排出施設において発生する水銀等を排出口から大気中に排出する前に処理するための施設（集じん機等）について、記載すること。

　　２　設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄にそれぞれ記載すること。

 ３　排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が１気圧の状態（この項において「標準状態」という。）における量に、水銀濃度については、標準状態における排出ガス１立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。

４　水銀濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

５　水銀等の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

（７－(2)定形的添付書類）

参　考　事　項

記載上の注意 １　届出等に係る工場・事業場の状況等について記載又は添付するものとし、番号は該当するものを○印で囲むこと。

２　届出書及びその別紙に記載又は添付している事項については、あらためて記載又は添付を必要としない。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  届出等担当者 （連絡先） |  氏　名 |  所　属 部課名 |  電話 FAX |
| 緊 急 時 連 絡 先 | 責任者職氏名代理者職氏名 |  所　属 部課名 |  電話 FAX |
|  公害防止管理者 |  １要 選　任 ２不要 |  選任要 職・氏名 のとき |  試験又は 資格の区分 |
|  公害防止責任者 |  職・氏名 |
|  従業 員数 |  |  主　　要 製品名 |  |  日本標準産業分類の 小分類番号・項目 |  |
|  特定施設メーカー名 |  |  処理施設メーカー名 |  |
|  特定施設が関係する製造工程の概要 |
|  新規立地工場・事業 場事前協議 |  １　要 ２ 不要 |  事前協議 協議終了年月日 要のとき |
|  特定施設等を 設置する土地 |  用　途 地　域 |  敷　地　（既存面積　　　　　　　　㎡） 面積等　（新規・増加面積　　　　　㎡　登記地目　　　　　） |
|  特定施設等を 設置する建物 |  新築 （床面積　　　　　㎡） |  増改築 （床面積　　　　　㎡） |  |
|  工場・事業場 当初設置年月日 |  　　　　年　　　　月　　　　日 |  水質関係特定施設 当初設置年月日 |  　　　年　　　　月　　　　日 |
|  公害防止協定 |  １　有 締　結 ２　無 |  締結有　　今回の特定施設等の １　要 のとき 届出に関する事前協議　２ 不要 |  事前協議　１協議済 要のとき　２協議予定 |
|  周辺における公害 苦情等の問題 |  現在解決して １　有 いない苦情 ２　無 |  有のときは　１　ばい煙　　３　汚水　　５　騒音　　７　水銀 その区分 ２　粉じん 　 ４　悪臭 　６　振動 ８　その他 |

その他、別紙として次の書類を添付する。

１　工場・事業場の平面図（建物、施設等の配置状況を記載し、今回の届出施設を朱塗すること。なお、汚水に関する届出等については、排出水の汚染状態を測定するための採水場所を記載、朱塗すること。）

２　工場・事業場の案内図（工場・事業場に至る経路を記載すること。）

３　ばい煙に関する届出書等については煙突立面図（主要寸法及び測定孔の位置を記載すること。）及び使用燃料の分析表

４　水質に関する届出書で特定有害物質を使用等する施設については、条例施行規則第１７条の規定を遵守していることを明示した図面等

　　年　　月 　 日

栃木県○○環境森林（管理）事務所長　様

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名又は名称及び住所並びに

 　　　　　　 届出者　法人にあつてはその代表者の氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（電話番号）

㊞

大気汚染防止法施行規則の一部を改正する省令（平成２８年環境省令第２２号）

附則第２条第２項に基づく石灰石に係る経過措置の適用について（届出）

　大気汚染防止法施行規則の一部を改正する省令（平成２８年環境省令第２２号）附則第２条第２項に基づく石灰石に係る経過措置の適用について，以下のとおり，原料として使用する石灰石中の水銀含有量が高く，石灰石の変更も困難であるため，石灰石中の水銀含有量の分析結果を添えて届け出ます。

記

１　石灰石中の水銀含有量　　（mg/kg）

２　原料として使用する石灰石を変更することが困難な理由

（添付書面）

　　　精度管理に関する情報

　　年　　月 　 日

栃木県○○環境森林（管理）事務所長　様

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名又は名称及び住所並びに

 　　　　　　 届出者　法人にあつてはその代表者の氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（電話番号）

㊞

大気汚染防止法施行規則の一部を改正する省令（平成２８年環境省令第２２号）

附則第２条第２項に基づく石灰石に係る経過措置の適用の解除について（届出）

　大気汚染防止法施行規則の一部を改正する省令（平成２８年環境省令第２２号）附則第２条第２項に基づく石灰石に係る経過措置の適用を受けていたところ，以下のとおり，原料として使用する石灰石中の水銀含有量が０．０５mg/kg未満である月が４ヶ月以上継続したため石灰石に係る経過措置の解除を届け出ます。

記

１　過去４ヶ月間の石灰石中の水銀含有量　　（mg/kg）

（添付書面）

　　　精度管理に関する情報